

(2024年3月卒業式に向けて大阪市立学校に送ることを予定しているメールです)

## 大阪市立学校の校長・教職員のみなさま

### 卒業式に向けた「君が代」指導では 子どもの権利条約に沿った対応をお願いします

2024年 月 日

Democracy for Teachers and Children

～「君が代」処分撤回！松田さんとともに～(略称 D-TaC)

2015年3月大阪市立中学校卒業式で「君が代」を起立・斉唱しなかったことを理由に戒告処分を受けた松田幹雄さんは、処分の取り消しを求めて提訴し、現在、**最高裁への要請署名**に取り組んでいます。**要請内容は、『君が代』強制は、子どもの権利条約違反、国際人権自由権規約違反**だと認めてくださいというものです。子どもの権利条約違反については、署名の趣旨の中で、以下のように説明しています。

「**子どもの権利条約は、子どもたちに、自分にかかわることについて意見を聞かれる権利(12条)**を保障し、自分の意見を形成するために**必要な情報を受ける権利(13条)**、**自分の考え(思想・良心・宗教)に反する行為を強制されない権利(14条)**を規定しています。児童・生徒は、自分に起立・斉唱が求められている「君が代」について『どんな歌?どんな歴史があるの?』と聞いていいのです。そして、自分の考えによって、学校から求められることに従わないことも子どもの権利条約では認められているのです。しかし、**現実の学校では、必要な情報も提供されないまま『まわりに合わせろ』『勝手なことをするな』**と言われて、『日の丸』『君が代』の歴史を知って、『君が代』を歌いたくないと思っている子は**つらい思いをしています**。この現実は、子どもの権利条約違反と言えます。」

以上

今年1月11日に行った**最高裁要請行動**で、私たちは、子ども情報研究センター発行の季刊「はらっぱ」12月号に掲載された「私は歌わない」と題する**中学1年生の体験報告**をもとに、現在の学校の「君が代」強制が**子どもの権利条約違反だと強く訴えました**。生徒が「君が代」の歴史等を知って起立・斉唱したくないと申し出た時に、周りの子の迷惑や卒業式の成功を理由に起立・斉唱を迫られたという体験を明らかにしたものです。**子どもの権利条約違反の告発**となっています。

どの学校にも「君が代」を歌いたくないと思っている児童・生徒はいるのではないのでしょうか。児童・生徒から歌いたくないという意思表示があればみなさんはどうされるのでしょうか。この例は決して**他人事ではありません**。

子どもたちへの**人権侵害にならない対応とはどんなもの**でしょうか。それは、「日の丸・君が代」の歴史や、現在卒業式に位置付けられている理由等について、**事実を伝え、判断するのはあなた方(児童・生徒)だ**という立場を明確にすることです。その上で、お互いの考えを尊重しながら自分の考えを深めていこうと呼びかけることです。

子どもたちに直接向き合っている**校長・教職員としての責任を果たしていただきたい**と思います。ぜひ、よろしくお願いします。(毎年、卒業式前に要請を送らせてもらっています。その中には、子どもたちにどう語るべきか、内容についての具体例を提示させてもらったものもあります。ぜひ、ご検討よろしくをお願いします。)